

contents

- 1 特集鼎談  
地球環境時代における緑と公園  
地域から市民からはじまる生態環境都市づくり  
涌井 史郎 桐蔭横浜大学 医用工学部特任教授 / 造園家  
松田 清江 株式会社マルモ出版 取締役副社長  
高梨 雅明 独立行政法人都市再生機構 理事

---

- 7 UR Project  
災害に強いまちづくり  
防災公園街区整備事業

---

- 9 地方にひろがる まちづくりプロジェクト  
人が輝く「結い」のまちづくり ゆいとぴあ盛南 (盛岡南新都市)  
鳥栖北部丘陵新都市  
人と自然・技術・文化のふれあう人間交流都市

---

- 11 PFIと再開発で開かれた街に 霞が関三丁目南地区 第一種市街地再開発事業  
霞が関 都市再生プロジェクト

---

- 13 都市の情景  
もうひとつの国の誇りを結晶させて  
沖縄県那覇市 国営沖縄記念公園 首里城地区

---

- 15 連載 “いま光る” 都市を訪ねる 第9回  
つくりあげてきた東北の首都のシンボル  
杜の都のケヤキを守る 仙台市  
西村 幸夫 東京大学大学院 都市工学専攻教授

---

- 17 シリーズ 街が甦るミュージアム ⑦  
生誕100年 国民的に人気を集める 日本画家 最大のコレクション 長野県信濃美術館 東山魁夷館

---

- 19 2008年メッセージ  
オリンピック 北京 そして東京  
福田 富昭 北京五輪 日本代表選手団 団長

---

- “水道”と同じくらい重要な“緑と公園”  
枝廣 淳子 アル・ゴア著『不都合な真実』翻訳者 / 環境ジャーナリスト

---

- 21 環境マンガ 【やなせたかし・矢野功・ちばてつや・里中満智子】  
文：矢野 功 漫画家 / (株)日本漫画家協会 理事 / 地球環境を守る漫画家の会代表

---

- 22 UR TOPICS / 編集後記

# 地球環境時代における緑と公園

地域から市民からはじまる生態環境都市づくり

## 地球環境時代における 緑と公園

**高梨** 今年は北海道洞爺湖サミットが地球温暖化対策を主要テーマのひとつに開かれます。今日は、京都議定書でCO<sub>2</sub>吸収源とされた緑と公園について、ご意見をいただきたいと思います。まず愛知県立青少年公園での愛・地球博の会場演出総合プロデューサーを担当された涌井先生に、環境博ともいわれた愛・地球博について伺います。

**涌井** 博覧会は150年前のロンドンからはじまり、最初の50年は万物万有珍品貴品つまり、産業革命礼賛の博覧会、次の50年は「国家覇権の博覧会」、次の50年は「産業・技術の博覧会」、そして2005年愛・地球博となります。人類は500万年の歴史ですが、1万年前に第一回の革命、「農業革命」が起き、それまで畏怖の対象だった自然が次第に経済機能に置き換わり、その後の「産業革命」によってますます自然は、科学と都市文明のもと産業や人間のために消費する資源として変貌していきました。地球が無限でなく有限であることにより、よく気がついたらいま起ころうとしている第三の革命が「環境革命」です。こうした考えが愛・地球博のテーマとなったのです。いわば「環境革命」の到来を万国博覧会においてはじめてビジュアルに訴えたともいえましよう。国家の博覧会は国が主体、産業・技術の博覧会は産業資本が主体、では環境の博覧会の主体は何かも考えました。国家であり地方政府であり産業社会でもあり、しかし不可欠なのは市民社会であっ

## 特集 鼎談

ていだん



涌井 史郎

わくい しろう  
桐蔭横浜大学 医用工学部特任教授 / 造園家  
東京農業大学 農学部造園学科卒業  
多摩田園都市 ハウスステンボスなどの  
ランドスケープ計画・デザイン  
2005年「愛・地球博」会場演出総合プロ  
デューサー  
社団法人国際観光施設協会 副会長  
社団法人日本造園学会 副会長



松田 清江

まつだ きよえ  
株式会社マルモ出版 取締役副社長  
全国のオープンガーデンを取材し、季刊『マイ  
ガーデン』に掲載 『オープンガーデンガイド  
ブック 2006-2008年度全国版』発刊2008年5  
月「第3回オープンガーデンサミット」企画中



高梨 雅明

たかなし まさあき  
独立行政法人都市再生機構 理事  
東京農業大学農学部卒業  
建設省入省  
国土交通省大臣官房審議官を経て現職

て、市民社会に環境問題が共有されない限り、「環境革命」の時代を乗り切れません。環境問題は国とか自治体を越え、世界はひとつ、宇宙船地球号の考え方を前提としますから、国家というエンジン、産業社会というエンジンに市民社会という大きなエンジンを加えて愛・地球博を支えたのです。博覧会国際事務局(BIE)でも、愛・地球博は骨董品になりかけた万博を甦らせてくれたと評価しています。そうした考え方を日常の生活空間に実現する具体的な手法、市民社会が環境に対応する新たなコモンを創造する手立てが、「環境革命」に対応した都市の生き方をビジュアルに表現できる「公園」なのではないでしょうか。



会場設計に 交通システムに 展示に 環境革命をアピールした『2005年 愛・地球博』

**高梨** 緑と公園は、地球環境時代において最も重要な社会的存在とのご指摘です。その際に重要な役割を果たすのが市民で、市民抜きに環境問題の解決はない。その市民にとって一番身近な緑は庭づくりではないか。松田さんは日本ではじめてオープンガーデンガイドブックを手がけられました。取材を通じて、市民が主体という芽が育ちつつあるのか、お聞かせいただけますか。

**松田** オープンガーデンを、2000年以来、私もマルモ出版発行の季刊雑誌